

大東文化大学経済研究所・大学院経済学研究科 共催
大東文化大学経済学会 後援

第41回 経済シンポジウム

マクロ経済学の最新研究

—経済問題へのデータ活用の最前線—

いま、マクロ経済をめぐる不確実性が高まっている。感染症蔓延、軍事侵攻、自然災害など不安定化要因が増え、経済、貿易、金融など市場への影響が大きい。こうした状況下、マクロ経済学には信頼できる広範なデータと有効な分析ツール、その精度の向上が求められる。経済研究所シンポジウムでは、マクロ分析手法のホットな展開に注目し議論する。

日時 2023年11月17日（金）13:00～（12:40開場）

会場 大東文化大学板橋校舎 2号館2階2-0220会議室

❖ 報告

高 準 亨（青山学院大学経済学部教授）

ウェブレット分析の経済学への応用：世界貿易不均衡を例に

近年、応用科学分野で注目を浴びつつあるウェブレット解析の基本概念と活用法を解説する。さらに世界貿易不均衡のテーマを、経済学分野の一つの実証例として紹介する。

森田 裕史（東京工業大学工学院准教授）

高頻度データを用いたマクロ経済ショックの識別：金融政策の情報効果の検証

高頻度データと呼ばれる取引単位や1分単位の資産価格の情報は、近年経済分析に幅広く利用されるようになってきている。本報告では高頻度データを用いた既存の経済分析を概観するとともに、我々が行った金融政策の情報効果の分析への応用例を紹介する。

久保田 荘（早稲田大学政治経済学部准教授）

マクロ経済分析におけるオルタナティブデータ活用について

近年、オルタナティブデータと呼ばれる、民間企業の保有するビッグデータを活用したマクロ経済分析が注目を集めている。銀行普通預金口座、および家計簿アプリデータを利用した財政政策分析を紹介しつつ、今後のオルタナティブデータ活用のあり方について論じる。

❖ コーディネーター

顧 濤（大東文化大学経済学部准教授）

入場無料／事前申込み不要／一般の方も歓迎

お問い合わせ 大東文化大学経済研究所
TEL：03-5399-7327 E-mail：ier@ic.daito.ac.jp



大東文化大学